

平成 20 年度第 2 回

東京都周産期医療協議会

日 時 平成 20 年 11 月 5 日 (水) 14 時 30 分から
場 所 東京都庁第一本庁舎 7 階大会議室

【次 第】

1 開 会

2 議 題

- (1) 都立墨東病院の母体搬送事案にかかる調査結果について
- (2) 今後の周産期母子医療体制について
- (3) その他

3 閉 会

【配布資料】

- 資 料 1 平成 20 年度第 2 回 東京都周産期医療協議会名簿
- 資 料 2 母体搬送事案に関する経過について
- 資 料 3 母体搬送事案に係る医療機関への調査について
- 資 料 4 「東京緊急対策Ⅱ」(抜粋)(平成 20 年 10 月 31 日・東京都)
- 資 料 5 総合周産期母子医療センターの医師数について
- 資 料 6 墨東病院周産期センターにおける 11 月の当直体制について
(平成 20 年 10 月 31 日・病院経営本部)

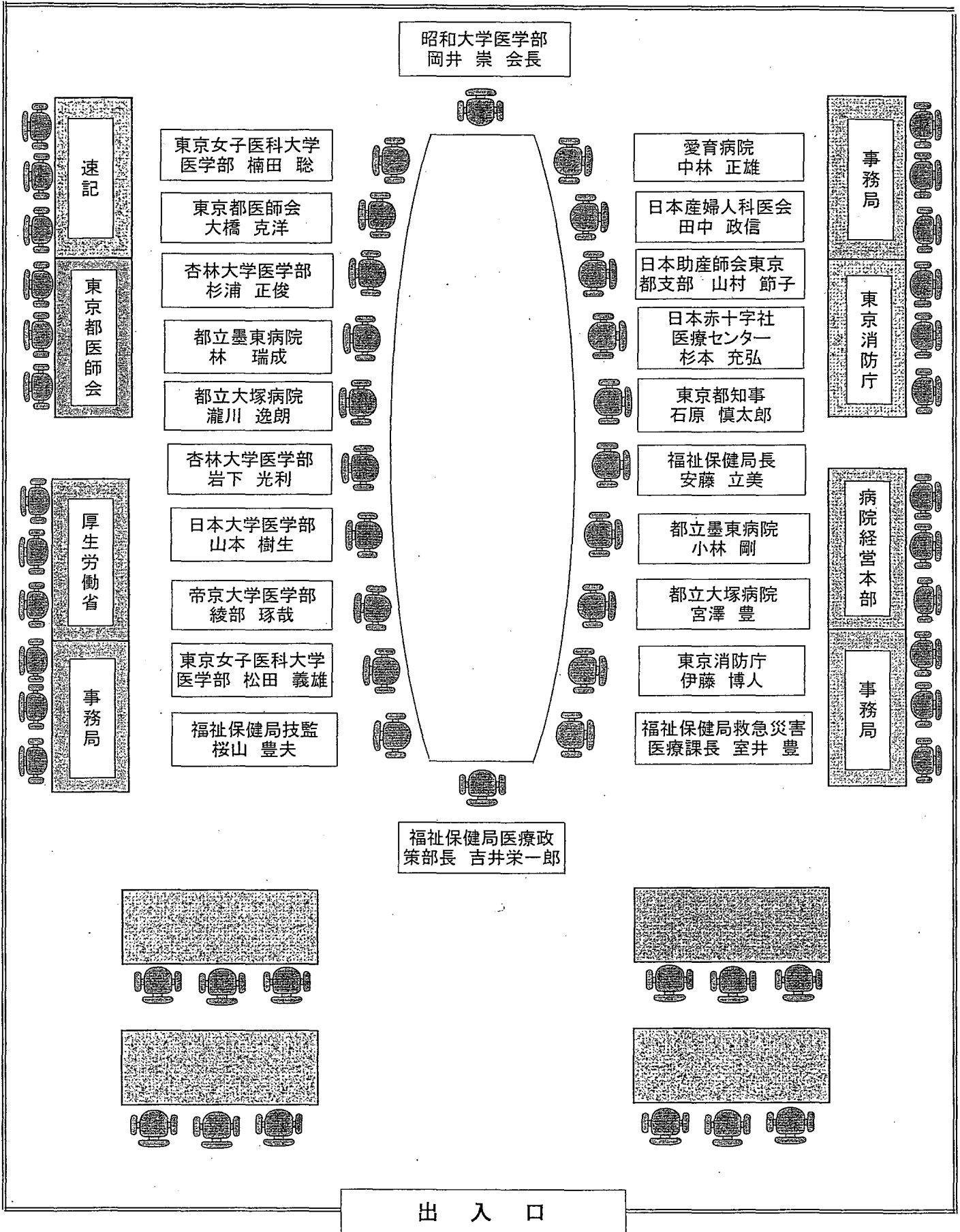
参考資料 1 東京都周産期母子医療センターの現況
(平成 20 年 4 月 1 日現在)

参考資料 2 東京都周産期母子医療センターの配置図
(平成 20 年 4 月 1 日現在)

参考資料 3 周産期救急医療体制特に母体救命救急体制の整備に関する緊急提言
(平成 20 年 10 月 31 日・(社)日本産科婦人科学会)

平成20年度第2回 東京都周産期医療協議会席次表

日時:平成20年11月5日(水) 14時30分から
都庁第一本庁舎7階大会議室



平成20年度第2回 東京都周産期医療協議会席次表

日時:平成20年11月5日(水) 14時30分から
都庁第一本庁舎7階大会議室

昭和大学医学部
岡井 崇 会長

速記

東京都医師会

厚生労働省

事務局

東京女子医科大学
医学部 楠田 聡

東京都医師会
大橋 克洋

杏林大学医学部
杉浦 正俊

都立墨東病院
林 瑞成

都立大塚病院
瀧川 逸朗

杏林大学医学部
岩下 光利

日本大学医学部
山本 樹生

帝京大学医学部
綾部 琢哉

東京女子医科大学
医学部 松田 義雄

福祉保健局技監
桜山 豊夫

福祉保健局長
安藤 立美

愛育病院
中林 正雄

日本産婦人科医会
田中 政信

日本助産師会東京
都支部 山村 節子

日本赤十字社
医療センター
杉本 充弘

東京消防庁
伊藤 博人

福祉保健局医療政
策部長 吉井栄一郎

都立墨東病院
小林 剛

都立大塚病院
宮澤 豊

病院経営本部経営戦
略担当課長 谷田 治

福祉保健局救急災害
医療課長 室井 豊

事務局

東京消防庁

病院経営本部

事務局

出入口

平成20年度第2回 東京都周産期医療協議会名簿

□ 協議会委員 (12名)

	氏名	所属・職	備考
◎	岡井 崇	昭和大学医学部教授	産婦人科
○	楠田 聡	東京女子医科大学母子総合医療センター教授	小児科
	有馬 正高	日本重症心身障害学会理事長	小児科
	中林 正雄	愛育病院院長	産婦人科
	杉浦 正俊	杏林大学医学部准教授	小児科
	林 瑞成	都立墨東病院周産期センター産科部長	産婦人科
	瀧川 逸朗	都立大塚病院小児科部長	小児科
	大橋 克洋	東京都医師会理事	
	田中 政信	日本産婦人科医会常務理事	
	山村 節子	日本助産師会東京都支部支部長	
	伊藤 博人	東京消防庁救急部救急医務課長	
	吉井 栄一郎	福祉保健局医療政策部長	

□ 産科部会長・新生児部会長 (2名)

	氏名	所属・職	備考
	杉本 充弘	日本赤十字社医療センター第一産科部長	産科部会長
	宇賀 直樹	東邦大学医学部教授	新生児部会長

□ 総合周産期母子医療センター (協議会委員・部会長以外:4名)

	氏名	所属・職	備考
	松田 義雄	東京女子医科大学母子総合医療センター教授	
	綾部 琢哉	帝京大学医学部教授	
	山本 樹生	日本大学医学部教授	
	岩下 光利	杏林大学医学部教授	

□ 病院経営本部(2名)

	氏名	所属・職	備考
	小林 剛	都立墨東病院院長	
	宮澤 豊	都立大塚病院副院長	

母体搬送事案に関する経過について

1 事案発生日

平成20年10月4日（土）19時頃

2 事案の経過

10月4日、地元産婦人科（江東区）によると、同産婦人科にかかっていた患者さんの転院搬送に関し、同産婦人科が19時頃から、都立墨東病院を含め8医療機関に連絡したが、受入可能な病院が見つからず、墨東病院に再度要請した。

墨東病院における対応は以下のとおり。

10月4日（土）

19:00 頃 地元産婦人科医師より、「母体搬送の受入れ可否」の問い合わせあり。

当直医師が「土日は基本的には母体搬送を受け入れていない。」と回答。他の周産期センターに依頼したほうが迅速かつ適切に対応できるとの判断から、受入れ可能な医療機関名を伝達

19:45 頃 再度、地元産婦人科医師より母体搬送依頼あり。

※他医療機関の受入れが困難だったと聞いたこと、下痢、嘔吐、頭痛等の症状が増悪している状況のため、バックアップの産科部長に緊急登院を要請

20:00 頃 地元産婦人科へ母体搬送受入れ可能と連絡

20:18 救急車で墨東病院到着

（救急車内で急激に意識レベル低下）

20:30 頃 脳卒中が疑われたため、脳外科当直医が対応

21:41 帝王切開術により児娩出

※児の救命のため先行（御家族同意）

22:24 頭部の血腫除去手術を開始

10月5日（日）

01:28 頭部手術終了

10月7日（火）

20:31 死亡確認（直接死因 脳出血）

母体搬送事案に係る医療機関への調査について

I 調査の概要

1 調査対象

- (1) 本事案について、かかりつけ産婦人科医院及び都立墨東病院から搬送依頼を行ったが受入れができないと回答した医療機関8施設

〔調査対象医療機関内訳〕

種 別	医療機関名
総合周産期母子医療センター	・都立墨東病院 ・日本赤十字社医療センター ・日本大学医学部附属板橋病院
地域周産期母子医療センター	・東京慈恵会医科大学附属病院 ・慶應義塾大学病院 ・順天堂大学医学部附属順天堂医院
周産期医療情報ネットワーク参画医療機関	・東京大学医学部附属病院
その他の医療機関	・東京慈恵会医科大学附属青戸病院

- (2) かかりつけ産婦人科医院

2 調査方法

東京都福祉保健局が厚生労働省・総務省消防庁と合同で各医療機関を訪問し、聞き取りを行った。

3 聞き取り調査実施期間

平成20年10月24日（金曜日）～ 同月31日（金曜日）

4 主な聞き取り内容

- (1) 事案に関する経緯
 (2) 母体搬送の受入体制（1の（1）の医療機関）
 (3) その他周産期医療体制等に関する意見